

日本技術士会中国本部 第 15-03 回役員会議事録

会議名称	中国本部 第 15-03 回 役員会		
開催日時	2015 年 10 月 31 日 (土) 13:00 ~ 15:30	議事録 作成	2015 年 11 月 9 日
開催場所	中国本部事務局会議室		作成者：金高 智之
役員の出席 ：出席 ：欠席	<p>大田一夫、伊藤 徹、渡部 修、木口誠二、外山涼一、住居孝紀、 乗安直人、岡本 亮、安藤敏明、山本和宏、山下祐一、松澤秀泰、 長原基司、青原啓詞、亀田雄二、金高智之、大江清登、岡村幸壽、 高田忠彦、川端 誠、若岡信利、行正高俊、今田雄一、石倉昭和、 田邊信男、河内義文、阿賀俊彦、河野 徹、 (役員総数 28 名、出席 22 名、委任状 6 名、合計 28 名で役員会は成立) 《オブザーバー》近藤英樹、植田幸男、佃 哲範、加藤淳司</p>		
配布資料	<p>資料 1 第 15-02 回中国本部役員会議事録(案) 資料 2.1 H27 年度第 3 回理事会報告(9/9) 資料 2.2 H27 年度第 3 回地域本部長会議報告 (10/27) 資料 2.3 H27 年度第 2 回総務委員会報告(10/15) 資料 3 H27 年度委員会・部会幹事・研究会名簿(案) 資料 4.1 中国本部の運営における個別事項に関する手引き 資料 4.2 中国本部 CPD 行事開催要領(別表 2) 資料 4.3 事務局関係者への交通費の支給について 資料 4.4 中国本部会議室利用要領細目 資料 5.1 平成 27 年度中国本部関連行事開催予定・実績 資料 5.2 平成 27 年度中国本部 CPD 行事収支計画・実績対比 資料 5.3 第 22 回西日本技術士研究・業績発表年次大会(松江) 資料 5.4 第 44 回技術士全国大会(山口) 資料 5.5 山口例会 資料 6 岡山県支部報告 資料 7.1 中国・四国本部意見交換会 資料 7.2 地域産学官と技術士との合同セミナー(鳥取) 資料 7.3 委員会報告(広報, 活用促進, 試験, 修習, 青年, 防災) 資料 7.4 部会報告(機械, 電気情報, 化学金属, 建設, 上下水道, 農林水産, 応用 理学, 環境) 資料 7.5 研究会報告(理科教育, 技術者教育, 省エネ・温暖化対策支援) 資料 8 各県の取り組み状況 資料 9 中国本部の会員拡大について(平成 27 年度) ○資料 10.1 中小企業基盤整備機構 連絡先リスト ○資料 10.2 上下水道部会の設立に関する新聞記事(水道産業新聞) ○資料 10.3 技術士会中国本部開催「鳥取創生を考えるセミナー」に関する新聞記事(中 建日報)</p>		
議 事	<p>議事は、規定により本部長により進行。</p> <p>1 . 前回議事録の確認 資料 1 第 15-02 回中国本部役員会議事録(案) 1 週間以内に目を通し、問題がある場合は事務局に申し出ること。 ・正式議事録を HP に掲載すること。</p>		

2. 理事会・総務委員会報告

資料 2.1 H27 年度第 3 回理事会報告(9/9)

伊藤副本部長より上記資料の内容について説明があった。

本議題に関する質疑等は特になし。

資料 2.2 H27 年度第 3 回地域本部長会議報告(10/27)

資料 10.1 中小企業基盤整備機構 連絡先リスト

大田本部長より、上記資料の内容について説明があり、以下の質疑・意見が挙げられた。

(1) 日本技術士会の会員拡大に向けた検討方策について

・会員拡大対策予算として 400 万円(平成 27 年度)が計上されているため、できれば地域本部にも予算をおとしてほしい。(長原幹事)

(2) CPD について

・CPD については、自己研鑽として CPD が与えられる上限(10 時間)の撤廃が議論されているが、これを撤廃すると講演等に足を運ぶ人が少なくなり、技術士会活動の活性化とは逆の方向に進むことが懸念される。(大田本部長)

・10 時間の撤廃は止めた方がよいだろう。(伊藤副本部長)

・問題なのは、CPD 会員が 700~800 人しかおらず、CPD が形骸化している点である。(木口副本部長)

・その点については、技術士についても更新性とする議論が行われている。(大田本部長)

・しかし、技術士を更新性とする、建設部門他数部門しか更新をせず、会員数の減少が懸念される。(外山副本部長)

(3) 中小企業基盤整備機構について

・長原幹事を中心にメンバーを募り、1 度ミーティングを行う。

・初回ミーティングでは、技術士会と中小企業基盤整備機構が連携して、今後何ができるのかについて話し合いを行う。

(4) 全国大会の会費について

・これまでの全国大会では、委員会に参加した人からしか会費を徴収しなかったため、お金があまり集まらなかった。中国大会ではエントリー料として 3000 円を徴収するなど、参加者から会費を徴収するための工夫をする必要がある(大田本部長)

資料 2.3 H27 年度第 2 回総務委員会報告(10/15)

山本事務局次長より、上記資料の内容について説明があった。

本議題に関する質疑等は特になし。

3. 中国本部委員会委員・部会幹事の選任

資料 3 H27 年度委員会・部会幹事・研究会名簿(案)

山本事務局次長より、上記資料の内容について説明があり、以下の質疑・意見が挙げられた。

・部会幹事は部会の開催について、四国本部に報告する必要がある。(乗安事務局次長)

4 . 中国本部規則の見直し

資料 4.1 中国本部の運営における個別事項に関する手引き

資料 4.2 中国本部 CPD 行事開催要領(別表 2)

資料 4.3 事務局関係者への交通費の支給について

資料 4.4 中国本部会議室利用要領細目

山本事務局次長より、上記資料の内容について説明（大田本部長・乗安事務局次長より補足説明）があり、以下の質疑・意見が挙げられた。

(1) 中国本部における委員会とその所掌事項について

- ・委員会横断的な事項については、事業委員会が対応することとしてはどうか。（長原幹事）
- ・了解。（岡本事務局次長）

(2) 講演会等の参加費の料金体系の見直しについて

- ・部会が増えたのは良いが、参加者が少なく、部会委員しか参加しないケースがある。このため、経費のバランスを図るため、やむを得ず部会員から会費をとることとした。（大田本部長）

(3) 交通費の支給について

- ・1 日中事務仕事をしてても駐車場代は 1500 円しか支給されないのか。（外山副本部長）
- ・事務局の前の駐車場が 1200 円で頭打ちのため、できるだけそこに停めてほしい。なお、委員会や部会活動ではない活動についてのみ、交通費が支給される。（大田本部長）

(4) 中国本部会議室利用要領細目について

- ・中国地質調査業協会広島県支部の「広島県支部」を削除してはどうか？（外山副本部長・長原幹事）
承認された。

5 . 中国本部主要事業について

資料 5.1 平成 27 年度中国本部関連行事開催予定・実績

資料 5.2 平成 27 年度中国本部 CPD 行事収支計画・実績対比

資料 5.3 第 22 回西日本技術士研究・業績発表年次大会(松江)

岡本事務局次長より、上記資料の内容について説明があり、以下の質疑・意見が挙げられた。

(1) 修習技術者支援委員会について

- ・修習技術者支援委員会の参加者が少ないため、どうすれば人が集まるのか、修習、青年、事業委員会が中心になって検討してほしい。（大田本部長）
- ・J A B E E 認定校に案内を送ってはどうか。（長原幹事）
- ・J A B E E 認定校にポスターを貼ってはどうか。（植田参与）

(2) 事業予定について

- ・2/13 及び 4/16 の役員会は文化交流会館で行うため、記載を訂正すること。

- (3) 第 22 回西日本技術士研究・業績発表年次大会（松江）について
- ・分科会は 2 つとし、1 つは「まち・ひと・しごと」をテーマとした部会、もう 1 つは青年が中心となる部会とすることに決定した。
 - ・交流会について、「同伴者婦人は無料」とあるが、3000 円に修正することに決定した。
 - ・今後 4 月以降に実行委員会を立ち上げる上で、スカイプを使える場所を島根につくるとよい。（長原幹事）

資料 5.4 第 44 回技術士全国大会(山口)

資料 5.5 山口例会

住居副本部長より、上記資料の内容について説明があり、以下の質疑・意見が挙げられた。

(1) 全国大会について

以下のことが決定した。

- ・開催日時については、平成 29 年 10 月 20 日（金）～10 月 23 日（月）とする。
- ・10 月 20 日（金）に部会を行う。
- ・10 月 21 日（土）に本大会を行い、分科会は「倫理」、「防災」、「青年」とも一つの計 4 つとする。
- ・分科会の部屋は 50 人部屋×2、210 人部屋×1、800 人部屋×1 の 4 部屋を予定しており、青年が 210 人部屋を使用する。
- ・その他の詳細については、山口例会において検討する。

6 . 岡山県支部からの報告事項

資料 6 岡山県支部報告

木口副本部長より、上記資料の内容について説明があり、以下の質疑・意見が挙げられた。

- ・第 7 回例会の開催日を 11 月 28 日に変更すること。
- ・11 月 28 日の例会を建設部会との共催とすることはできないか。（大田本部長）
- ・了解。その他についても共催できるものは共催を検討する。（木口副本部長）

7 . 委員会・部会・研究会の活動報告

資料 7.1 中国・四国本部意見交換会

山本事務局次長より、上記資料の内容について説明があり、以下の質疑・意見が挙げられた。

- ・四国本部では、非会員のメールアドレスを登録し、CPD 情報、部会情報を流すことで会員拡大を目指している。（山本事務局次長）
- その他の質疑等は特になし。

資料 7.2 地域産学官と技術士との合同セミナー(鳥取)

伊藤副本部長より上記資料の内容について説明があった。

本議題に関する質疑等は特になし。

資料 7.3 委員会報告（広報，活用促進，試験，修習，青年，防災）

各委員会の代表者より、上記資料の内容について説明があり、以下の質疑・意見が挙げられた。

(1) 広報について

- ・研究会のページを設けたいがどうか？（松澤幹事） 承認

(2) 岡山県支部の行事について

- ・岡山県支部の行事を中国本部のHPに載せる決まりについて、何を載せて何を載せないかが明確になっていないため、整理をしてほしい。(長原幹事)
- ・ルールの整理を行う。(木口副本部長)

(3) 修習技術者支援委員会について

- ・非常に参加者が少ないが、良い方法はないか?(大田本部長)
- ・どうしても試験対策に対するニーズが高いが、委員会ではできない。岡山では青年の有志が、委員会とは異なる場所で試験対策の支援を行っている。(木口副本部長)
- ・広島では水炊き塾が試験対策を実施している。(長原幹事)

資料 7.4 部会報告(機械, 電気情報, 化学金属, 建設, 上下水道, 農林水産, 応用理学, 環境)

各部会の代表者より、上記資料の内容について説明があり、以下の質疑・意見が挙げられた。

(1) 世羅ワイナリー見学会について

- ・今回は27人乗りのバスに12人しか乗らなかった、お金の無駄のため、次回はいつまでキャンセルが可能かを確認してから予約するようにしたい(大田本部長)
- ・今回は観光シーズンにあたり、バスの確保が非常に困難であったため、見学会のシーズンについても考える必要がある。(河野幹事)

資料 7.5 研究会報告(理科教育, 技術者教育, 省エネ・温暖化対策支援)

各研究会の代表者より、上記資料の内容について説明があり、以下の質疑・意見が挙げられた。

(1) 会員について

- ・研究会の会員拡大のため、中国本部の会員に案内を投げたい(岡本事務局次長)

(2) 省エネ・温暖化対策支援研究会について

- ・省エネ助成金対応のため、省エネプラットフォームを別に立ち上げることを検討している。(山本事務局次長)

8. 県支部設立に向けた取組みについて

資料 8 各県の取り組み状況

住居副本部長より、全国大会に向けて県支部の動きを進める必要がある旨、話があった。

本議題に関する質疑等は特になし。

9. 会員拡大の取組みについて

資料 9 中国本部の会員拡大について(平成27年度)

大田本部長より、上記資料の内容について説明があり、我々も周りの人に入会を勧めていく必要がある点、確認を行った。

その他の質疑等は特になし。

次の第4回役員会は、平成27年12月5日(土)11時00分~12時30分、山口市にて開催予定。
以上